

スカラ株式会社が電子瞳孔計を使用して“過労死防止対策”プロジェクトを支援

過労死対策を研究する東京大学は、過労死の早期発見に役立つ機器として、スカラ株式会社の開発した電子瞳孔計を利用したプロジェクトを立ち上げます。

平成 26 年 11 月に企業・民間雇用労働者や国家公務員・地方公務員に対し「過労死等防止対策推進法」が施行されました。

東京大学・臨床心理学研究室では、様々なストレス要因や逆境体験があったとしても、心身の健康を保って生活するにはどうしたらよいだろうか。医師（精神科医・産業医）としての経験も生かしながら、健康や病気のプロセスを生物・心理・社会的アプローチで探索しています。

研究室は雇用労働者の不安やストレスを推し量る手段として、スカラの電子瞳孔計に着目しました。

電子瞳孔計は**操作が簡単**（測定時間は 1 人約 6 秒）で軽量な上、**検査者の資格を問いません**。

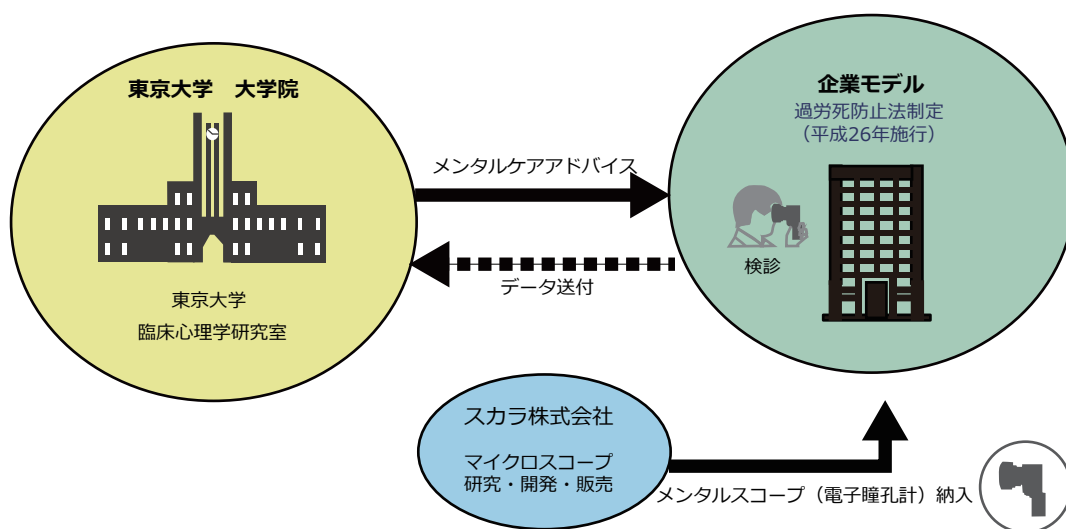
企業内で計測したデータを東京大学で分析し、そのデータを基に民間企業は民間雇用労働者にメンタルケアのアドバイスができます。

スカラ株式会社はマイクロ스코プのパイオニアとして、産業・美容・医療・放送・学校教育分野で製造開発に携わっている会社です。

電子瞳孔計 DK201/DK2000 は瞳孔の面積や直系の計測、光刺激による瞳孔の対光反応の計測を行います。被験者の瞳孔は**不快・緊張・恐怖**などの反映します。

雇用労働者が持つ**不安感・緊張感・恐怖感**など、ストレスの兆候を数値化し、**過労死の早期発見対策**に役立てることが、このプロジェクトの目的です。

“過労死防止対策”プロジェクトチーム参加企業を募集しています



お問合せ

スカラ株式会社 マイクロ스코プのパイオニア

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1 丁目 22 番 2 号 新宿サンエービル

TEL:03-3348-0181 担当：生田（しょうだ）携帯 080-8871-8539

FAX:03-3348-0188

<http://www.scalar.co.jp>

SCALAR
IMPRESSIVE WORKS